

News Letter

2016年
6月
中国四国農政局
山口支局

～ 山口県オリジナル黒大豆のんたぐろ ～

「のんたぐろ」は、山口県オリジナル品種の黒大豆です。元々長門市で栽培されていた大豆「タマホマレ」の中に黒い大豆ができる株があり、平成元年から平成16年にかけて山口県農業試験場が改良・育成し誕生しました。平成16年から新品种の導入に意欲的だった下関市豊田町地区で栽培が始まり、平成18年に「のんたぐろ」として品種登録されました。

のんたぐろの栽培について

のんたぐろの栽培は、種まきが6月中旬頃で収穫は10月下旬頃になり、黒大豆の代表格「丹波黒」より1ヶ月半程度早く収穫できます。栽培の特徴としてさや（実）の付く位置がやや低く、収穫を大豆専用コンバインで行うため畝を高くする必要があります。現在は20ha程度の作付が行われており、10a当たりの収量は、120～150kg程度です。

のんたぐろの加工品販売

のんたぐろの一番の特徴は、「香りの良さ」で焙煎に適しており、焙煎後のきな粉を他品種と比較すると香り成分が格段に多いことです。

加工業者からは「風味が良く、味がまろやかで加工特性に優れている」と高く評価されています。

地域の加工グループ（企業組合、JA女性部等）がのんたぐろの加工販売に取り組んでおり、ポン菓子、蒸しパン、ほうじ茶など、色々な商品を開発し道の駅「蛸街道西ノ市」等で販売され徐々に認知度もアップしています。

【のんたぐろ】実は楕円形です。



のんたぐろを使用した商品



のんたぐろの商品には、左のマークが付いています。

「のんたぐろ」の名称は、皆さんに親しみを持ってもらいたいことから、山口県の方言「のんた」（ねえ、あなたの意味。）と黒大豆の「くろ」をあわせて命名されました。

取材協力：山口県農林総合技術センター、JA全農山口、
JA下関豊田営農経済支部、道の駅 蛸街道西ノ市

6月は「食育月間」です

平成17年6月、「国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむ」ことを目的として「食育基本法」が制定され、毎年6月は「食育月間」となっています。

これに因み、中国四国農政局山口支局では、平成28年6月1日から6月30日の間、山口県健康づくりセンターホール（山口市吉敷）にて、食育に関するパネル展示、パンフレット配布を行っています。近くにおいでの際はお立ち寄り下さい。

食を取り巻く環境が大きく変化する中、自分の食生活を見直してみてもいいでしょうか。



むら 「ディスカバー農山漁村の宝」(第3回選定)応募

募集期間

平成28年6月14日(火)から平成28年8月15日(月)まで
(他薦は8月1日(月)まで)



「ディスカバー農山漁村の宝」とは

農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。優良事例が20地区程度選定されるほか、この優良事例の中からグランプリ1件、特別賞3件程度選定されます。

※特別賞は政策テーマ(地方創生、インバウンド、輸出、女性・高齢者・障害者の活躍等)に沿った取組を選定する予定。

対象となる取組

農山漁村の持つ豊かな自然や食、産物など、埋もれていた資源の活用を行うことにより、都市と農村の交流、6次産業化、移住・定住の推進など農林水産業や地域の活力創造に繋がる取組について幅広く対象としています。

応募等について

募集の詳細、応募用紙等は、農林水産省ホームページに掲載しています。

URLは、<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/discover.html>です。

応募は、応募用紙の電子データをCD-Rに保存し、所定の提出先にご郵送下さい。

編集:中国四国農政局 山口支局

〒753-0088 山口市中河原町6-16 山口地方合同庁舎1号館3階

TEL (083)922-5200 FAX(083)934-1120 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから)<http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>